

国立大学法人
奈良女子大学通信

ならじよ 奈良女 Today

vol.
22
July
2014

合気道部 主将
伊藤 愛恵(いとう めぐみ)
理学部数学科3回生
出身校:大阪府立高津高等学校

合気道部 副主将
西 美春(にし みはる)
文学部言語文化学科
日本アジア言語文化学コース
出身校:鹿児島県立川内高校



特集

[対談] 学長×卒業生

変わる奈良女、変わらない奈良女

～改組を通して見えるモノ～

特集

「対談」学長×卒業生

変わる奈良女、変わらない奈良女

～改組を通して見えるモノ～

今年度より学部を越えた教育組織の改革(改組)を実施した奈良女子大学。改組後の新入生を迎えて間もなく半年が過ぎようとしています。今回は、東洋紡(株)総合研究所で研究・開発をリードしておられる石丸園子さん(1987年家政学部卒)を迎え、今岡学長とともに、今の奈良女子大学とその未来の姿について話していただきました。

特集 「対談」学長×卒業生
変わる奈良女、変わらない奈良女

02 ▶ ～改組を通して見えるモノ～

06 ▶ 教養広場

12 ▶ わたしのチャレンジ

13 ▶ 卒業生からのメッセージ

14 ▶ 教員著書紹介

16 ▶ クラブ紹介・学生表彰

17 ▶ 国際交流

18 ▶ 就職情報

19 ▶ 入試情報・公開講座

大学を取り巻く環境の変化

石丸さん 私は27年前に奈良女子大学の家政学部(当時)を卒業しました。久々に母校を訪れたのですが、私が通学していた時代と今とではずいぶん違いがあるのではないかと思います。

学長 奈良女子大学は石丸さんが卒業されてから独立行政法人になり、それからほぼ10年が経ちました。今、国立大学自身は文部科学省の「ミッションの再定義」を受け、変革の時期を迎えています。これは、それぞれの大学の強みや特色を伸ばし、社会的役割を担っていくための提案です。

近年における少子化の影響で18歳人口の確実な減少が予想され、数年後には大学に入りたい学生全員が大学に入学できる「全

入時代」がやってきます。受験者数の減少とともに何が起ころかという、全体的な学力レベルの低下が懸念されます。学力の高い学生は東大・京大に入るため、ものすごく勉強すると思います。しかし、中間層の大学であれば、受験のテクニックを覚えて少し勉強すれば入れる時代になります。入学してからも学生の間に一生懸命勉強しておかないと学力がますます低下し、それを放っておくと社会で使い物にならない人材のまま、輩出してしまふことにもなりかねません。

石丸さん 私の会社でも、ゆとり教育世代の新社員が入社してくるようになっていきます。その影響なのか、基礎学力が不十分だと感じる場合があります。研究部門においては特に、基礎学力はつけておいて欲しいですね。

学長 企業からすると、大卒は高い学力と能力を備えていて「仕事ができる」という期待があるわけですね。昔は大学では研究さえしていれば良かったのですが、企業の期待に応えられる人材を育成するために、今は教育を重点的に頑張っていかなければならなくなっています。つまり、「社会で使える人材にして送り出す」ということが大学の大きな役割になってきているのです。

石丸さん 研究だけでなく、改めて教育が重要になっていくということですね。

学長 そのような状況の中、国際社会での競争にも勝つていかななくてはなりません。そのためにはマーケットを見て、できるだけそれに合わせた形で魅力ある学部、学科をつくっていく必要があります。「この勉強をしたいから、あの大学に行きたい」と具体的に描けるような大学づくりが今求められているのです。



奈良女子大学記念館(旧奈良女子高等師範学校本館)講堂

改組について

学長 これらの状況を踏まえ、奈良女子大学では今年度から大規模な改組を行います。文学部人間科学科を教育学・人間学コース、心理学コースの2コースにしました。理学部は、数物科学科と化学生命環境学科に再編し、それぞれ3つのコースを設置しました。また、生活環境学部は生活健康・衣環境学科を心身健康学科と情報衣環境学科に分け、元々文学部と理学部にあったコースを組み込み、より専門的で実践的に学べるようにしました。改組後の定員は、理学部が150名、文学部が150名、生活環境学部が175名なので、4年後には生活環境学部が一番大きな学部になっていると思います。

石丸さん 私たちの時代とは大きく変わっていますね。時代の変化を感じます。

学長 「情報衣環境」は、もともとあった理学部の数理情報学講座と生活環境学部の衣環境学講座を組み合わせました。情報化社会ではコンピュータが特殊な人たちのものではなく、私たちの生活の中に溶け込んでいるからです。

理学部の数物科学科では、大学に入ってから自分の進路を決められるようにしました。「大括り入試」とも言われているのですが、高校時代に理系・文系に分けられ、同じ理系であっても自分はこの分野が好きなのかが分からない人もいますよね。そのようなミスマッチを防ぐため、大学に入ってから選べるようにしたのです。今年の入試で受験者が増えたのでうまくいっているのかなと思います。

石丸さん 理学部であれば卒業後はマスターまで行つて、企業の研究者を目指してほしいですね。

学長 一方で、文学部では修士を志す学生が少ないのが実情です。しかし文学部のおもしろいところは、修士まで学んだ後にドクターまで進む学生が少なからずいることです。つまり、世の中に関係なく「勉強が大好き」という学生は少ないけれど必ずいます。そういう学生は「最後までとことん学ぶ」「え？お金？関係ない！」という感じで頑張っているのですね。

ろいところは、修士まで学んだ後にドクターまで進む学生が少なからずいることです。つまり、世の中に関係なく「勉強が大好き」という学生は少ないけれど必ずいます。そういう学生は「最後までとことん学ぶ」「え？お金？関係ない！」という感じで頑張っているのですね。

新設「情報衣環境について」 —アパレルの可能性—

学長 私自自身が情報系だったので、たぶん石丸さんとほとんど同じ分野になります。オーバーラップしているので、お互いに興味があると思います。「服」をどうみるかという、まず素材があります。これは絶対にはずせないものです。たとえば、ヒートテック。保温性に優れ、身体が冷たくならないのは素材によるものですが、そのような被服生理学が今まさにヒットしています。そしてその次に期待されているのが情報系と被服が一緒になったものです。

石丸さん 情報系と被服が一緒になったものと言えば、スマートテキスタイルや身に付けて持ち歩くことができるウェアラブルコンピューターがありますね。最近、センシング技術計測技術が進歩してコンパクトにウェアに組み込むことができるようになってきており、現

平成26年4月からの新構成

文学部	
■人文社会科学科(定員60名)	古代文化学コース/歴史学コース/社会情報学コース/地域環境学コース/文化メディア学コース
■言語文化学科(定員50名)	日本アジア言語文化学コース/ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース
■人間科学科(定員40名)	教育学・人間学コース/心理学コース

理学部	
■数物科学科(定員63名)	数学コース/物理学コース/数物連携コース
■化学生命環境学科(定員87名)	化学コース/生物科学コース/環境科学コース

生活環境学部	
■食物栄養学科(定員35名)	生活健康学コース/スポーツ健康科学コース/臨床心理学コース
■情報衣環境学科(定員35名)	衣環境学コース/生活情報通信科学コース
■住環境学科(定員35名)	生活文化学コース(定員30名)

大学院人間文化研究科 博士前期課程	
■心身健康学専攻(定員25名)	生活健康学コース/衣環境学コース/臨床心理学コース

※新設専攻のみ掲載

実味が出てきています。企業としてもとても興味のある分野です。奈良女子大学でこのような分野の研究をされている先生はいらっしゃいますか？

学長 例えば、今回の改組で来ていただいた佐藤克成先生がいらっしゃる。彼は触覚の専門家であり、ゆるい「触りの世界」を研究されています。たとえば、テレビや映画は視覚を記録し、電送して再現します。それと同じで、触覚を記録して、転送して再現するということを中心に取り組まれています。

石丸さん 弊社では、温熱快適性の研究開発以外に、「肌触り」にも着目して触感を数



石丸 園子(いしまる そのこ)
東洋紡織 コーポレート研究所快適性工学センター 部長
1987年奈良女子大学家政学部被服学科卒業。同年東洋紡織(株)総合研究所(現、東洋紡織)入社。地球環境研究所主任などを経て、2001年分析物性研究センターリーダー、2008年コーポレート研究所快適性工学センター部長を歴任。2011年工学博士を取得。



る情報グループと互いに連携をとりながら、ともに生活をベースにしたものづくりというフィールドで勝負できたという展望を抱えています。

石丸さん 頑張つていただきたいと思っています。

改組することで広がる未来

学長 石丸さんは現在社会で活躍されていますが、奈良女子大学の卒業生として、いま現在思うことは何かありますか？

石丸さん 大学3年生のときに、登倉尋實先生の授業を受けて、「こんな研究があるんだ」「自分もこんな研究してみたい！」と思ったことがきっかけで、4年生のときに先生の教室に入りました。そのまま、同様の研究をしている会社を探して今の会社に入社し、早いもので二十数年が経ちました。登倉先生に出会わなかったら、私は今の仕事をしていないと思います。つまり、大学で私の人生の方向性が決まったと考えると、奈良女子大学での学生生活は私にとってとても重要な位置づけで、今の私のルーツがここにあると考えています。

学長 文科省の「ミッションの再定義」では、

地方の大学なのか、全国の大学なのか、世界の大学なのかということが問われています。その中で本学は全国の学生が入学するので全国の大学だと考えています。たとえばお茶の水女子大学の場合は、日本の中心部東京に拠点があるので、そこに学生が集まり、その地で就職するケースも多いと思います。奈良女子大学の場合は、ここで学んだことを全国に持ち帰ってもらいたい。そのためにも「奈良」をもっと学んでほしいのです。そうすれば地方に帰った時、奈良で学んだことがそれぞれの地方で何かの形となって残っていくのではないのでしょうか。村おこしだったり町おこしだったり、それが新しい産業につながっていくことにもなるのです。

一方で、グローバル化に対応していくことも重要です。海外に出たときに、日本文化をきちんと理解して、日本人の考え方を思うように説明できることが求められます。そういう意味でも奈良はとても良い場所にあると思います。

石丸さん 企業でもグローバル化は同じです。研修に来た外国人に奈良を案内したことがあるのですが、日本の歴史や文化を説明するには奈良はとても良いところだと改めて感じました。

学長 また、今回の改組により学部の垣根がより低くなつたら良いと思っています。1、2年では生活環境学ではなく文学や理学でベースを徹底的に鍛え、3、4年で応用を学ぶ。たとえば、国際的な評価が高いアメリカのカリフォルニア工科大学は、規模や人数は本学とそんなに変わりません。1、2年では、生物と物理、化学、数学、これしかせず、3、4年になって初めて実践的な授業に入っていきます。これからはそれがひとつのスタンダードになると思います。

石丸さん そのようなカリキュラムであれ



今岡 春樹(いまおか はるき)
学長 専門:アパレル工学
工学博士。通産省工業技術院繊維高分子材料研究所技官、奈良女子大学家政学部助教を経て、2001年奈良女子大学教授、2011年生活環境学部長を歴任。2013年奈良女子大学学長に就任。

ばベースができた上で応用系に移るので、積極的にいろんなことに挑戦できますね。発想もフレキシブルですし、伸びていきやすいと思います。やはり、応用系であってもベースは持つておいてほしいですからね。それがないと企業に入ってから苦労するんですよ。文系、理系の基礎をつくってから生活系(応用系)をしつかり身に付けている人は、その人自身が企業に入ったあと成長するスピードが早いのではないのでしょうか。

学長 私としても、大学は企業が困つたら助けられるような基礎的なことがしっかりとできる。そんな一面があつた方が良いと思います。世界のトップレベルの知見を持ち、「今こまできています」「それはまだ十年早い」など、そういう学問の目利きができることが本来の大学の先生だと思っています。

石丸さん そのためにも世界一の女子大になつてほしいですね。

学長 そうですね。世界一になったら、世界から学生が集まってくるからね。小規模で小回りの利く大学ですし、それぞれがひとつの方向を向けば実現可能だと思っています。

石丸さん そうですね。触覚は生活の中でも大切な要素のひとつですから。

学長 みんな「目」に騙されていて、触るといことがいかに重要かをもちと考えなければなりません。未開拓の分野であり、今後大きな産業に育つのだらうなという期待感もあり、生活環境学部にもそういった分野を研究する部門があつても良いのではないかなと思います。将来は、最先端のことを研究す

石丸さん 奈良女子大学の皆さんには、これからも世の中にどんどん出て行つてほしいと思います。大学の先生や社会で活躍する企業人。「あ、この人も奈良女出身だったんだ」と、身近に奈良女出身の人がいると、私も頑張ろうと思います。

学長 大学は時代の流れに合わせていくことが重要です。少子化で人口が減少していく中でも、日本が競争に負けない、今のポジションを守っていくためにも、少数精鋭で世界に勝てる人を育てなければなりません。そのために本学では力を入れて学生を鍛え上げていこうと思っています。その意識を持ちながら学生を育てれば、もつと世界で戦える学生が出てきて、一人でも二人でも多く優秀な卒業生を輩出できる。それがまさに「世界の奈良女」につながると思います。さらには、奈良女だけではなく、日本の女子大、私立大学も含めて、日本の女子大学が日本のためにどのような貢献ができるのか、さらに世界のためにどのような貢献ができるのか、という視点で教育を再構築していくことが求められています。

教養広場

文学部
人文社会学科
文化メディア学コース
教授(なら学プロジェクト世話人)

寺岡 伸悟 てらおか しんご

「授業ではどのようなことが学べますか？」
それは学生に人気の「なら学概論」をご紹介します。これは、文学部人文社会学科を中心とした「なら学プロジェクト」が運営する授業で、プロジェクトの先生たちが大勢登場します。なら学プロジェクトで伝えたいことは3つあります。ひとつは、奈良が古代から現在に至るさまざまな時代の層が積み重なってできた「時間的にとても分厚い場所」であるということ。もうひとつは、奈良市を中心とした北和から、商工業の盛んな中和、そして桜の吉野山で知られる南和と、奈良は「地域の多様性」も大きな特徴であるということです。



シヨップになってにぎわっています。歴史や文化遺産を現代に活かすモデルとして奈良は全国の見本になれる場所です。

また、せっかく奈良で学んでいるのですから、教室に外に出かけて見学や説明をしてみたい。この授業では、実際に外に出かけて見学や説明をしてみたい。この授業では、実際に外に出かけて見学や説明をしてみたい。この授業では、実際に外に出かけて見学や説明をしてみたい。

力発信」をキーワードに町を歩き、「自分マップ」と名付けたマップを作ります。

——奈良の魅力伝える方法も必要ですね。奈良は観光地ですが、その魅力をまだまだ十分に発信、発信できていません。この課題をもっと深めたいと考え、私はメディア文化や観光の授業を通して、ゆるキャラ・B級グルメなどの地域ブランド論、さらにカワイイ文化論なども取り上げます。最近「よくわかる観光社会学」「メディア文化論」という本も出版しました。こうしたテーマを卒業研究にする学生も多く、実際に県内のゆるキャラ

文学部 人文社会学科 文化メディア学コース
教授(なら学プロジェクト世話人)
寺岡 伸悟 てらおか しんご

【研究テーマ】
奈良を研究の中心に据え、奈良の探求、活性化のために学問分野や産官学の垣根を超えて教育・研究・実践に取り組んでいる社会学者。そのためのツールとしてメディア文化や観光研究、さらに郷土史研究にも関心を持つ。地方の地域社会の課題解決のための新しい領域、社会技術開発(アクションリサーチ)にも奈良をフィールドに取り組んでいる。

【担当授業科目】
観光文化論特殊研究/なら学概論A/地域メディア論演習/
文化メディア学卒業論演習I/比較社会学特論I/比較社会学演習I/
なら学概論B/なら学フィールドワーク実習/なら学演習

——どのような研究をされていますか？
私の研究にはいろいろな顔がありますが、共通することはその舞台が「奈良」だということ。たとえば、奈良公園の「鹿」。この鹿たちは「神鹿」と呼ばれ、春日大社の由来、そして奈良が古代から培ってきた歴史文化の核心と深く結びついています。ところがある留学生から「私たちにとって奈良の一番の魅力は奈良公園の鹿です。だってカワイイから」と聞いて驚きました。いまや「カワイイ」は、日本発の世界カルチャーです。日本を訪れる人たちは奈良の鹿にカワイイという「日本らしさ」を見るのです。しかし奈良の鹿は、ただカワイイだけではありません。「カワイイ鹿」は、奈良の文化・歴史への格好の入り口にもなります。

今、奈良の魅力の発掘とその伝え方を学ぶ上で、歴史や文化の中にある「奈良らしさ」の探求と、それをどのように「グローバルコンテンツ化」するかという2つの視点があらに学生が入って、自治体のPRイベントをお手伝いする体験もしています。中には「せんとくん」に入った学生もいますよ。文学部の授業では、奈良に限らず、学生たちが自分の興味のある文化・社会現象をどんどん調べて、自由に研究しています。



——より実践的な授業もありますか？

こうした研究や関心の応用、実践編として、「奈良県内の市町村と協力して、地方の町や村が困っている課題を解決できる」「仕組みづくり」を研究しよう」と思い始めたのが、通称「らくらく農法プロジェクト」です。奈良は全国有数の柿の産地です。柿は奈良県の南部、吉野郡や五條市などで多く作られています。こうした地域は高齢化が進み、柿づくりを続けられなくなる人も出てきています。しかし、この吉野地域は、県の伝統文化を守り伝えてきた素晴らしい地域で、その文化の衰退や人口の減少を防ぎ、奈良の魅力を活かしてあげたい。そこで、「歳をとっても今より10年長く、楽で楽しく働ける仕組み」を実現しようというプロジェクトを立ち上げました。

まずその地域の現状把握と課題の発見のための社会調査を行います。その結果をもとに、高齢者でも安全に使える農作業運搬車を県内の精密機械メーカーに作ってもらい、安全な農作業の方法を農業の専門家に考えてもらい、身体の疲れや農作業の危ない動きを、本学のスポーツ科学の先生たちに研究してもらっています。まさに民間企業と大学、自治体、住民のコラボレーション。結果、さまざまな成果があり、農業を引退する



つもりだった方が現役を続け、作った柿の葉の出荷販売にまでこぎ着けることができました。また、新開発の運搬車も村の畑で試運転中で、商品化も見えてきました。学生たちも多数参加しています。



——国際的にも注目されていますね。実はこの取り組みは海外でも注目され、トルコの大学から視察団も訪れました。その報告はイスタンブールの電子ジャーナルでも紹介されました。その大学の先生からのメールによると、すでにその大学では「Takim, 'akunononou」という日本語は、そのまま通じるとのこと。こうした地方地域社会の課題解決のために、文化から技術までを含

り、これをどう結びつけるかが地元に住む研究者の使命です。

——授業ではどのようなことが学べますか？
それは学生に人気の「なら学概論」をご紹介します。これは、文学部人文社会学科を中心とした「なら学プロジェクト」が運営する授業で、プロジェクトの先生たちが大勢登場します。なら学プロジェクトで伝えたいことは3つあります。ひとつは、奈良が古代から現在に至るさまざまな時代の層が積み重なってできた「時間的にとても分厚い場所」であるということ。もうひとつは、奈良市を中心とした北和から、商工業の盛んな中和、そして桜の吉野山で知られる南和と、奈良は「地域の多様性」も大きな特徴であるということです。



ゼミ生の声 こえ

寺岡先生はどんな先生？

ひとことと言うと、とても面白い先生です。また、私たちが理解しやすいように工夫して話してくださったり、テーマに関する動画を見せるなど、視覚的にとらえられる授業をしてくださるので、内容が理解しやすいです。先生はご当地ヒーローなどの研究もされていて、授業で自分の出身のヒーローが取り上げられた時はとても親近感が湧きます。

面白い授業は？

「なら学概論」が印象に残っています。「自分マップ」という地図をつくる授業で、グループに分かれてテーマを決めて、何を調べるかを話し合い、自分たちが街へ取材に行きました。マップが出来た後は大展覧会を行い、作品発表します。良い作品に投票してグランプリを決めました。

「なら学」を学んで。

授業で奈良を調べることで、今まで気づけなかった奈良の良さや、奈良に住んでいる人の人柄を知ることができました。奈良を知ることによって自分のふるさつを見直すことができ、その良さを改めて実感できました。地域の人の温かさや、原動力となる町おこしの大切さなどを知れたことが、なら学を学んだ中で一番良かったことです。



岡田亜弓(おかだ あゆみ)さん
文学部人文社会学科文化メディアコース
3回生
出身校:愛知県立刈谷高等学校

——先輩たちはどんな活躍をしていますか？
先輩たちはどんな活躍をしていますか？

——今後の目標について教えてください。奈良の魅力、奈良を研究する面白さをもっとグローバルに発信していくことです。全国を見渡しても、「世界的に知られた文化資源」と「地方地域社会としての一般性」の両方を兼ね備えた場所は、奈良以外には見当たりにません。歴史文化を現代文化に活かし、さまざまな立場や専門分野の人を結びつけて、どこの地域社会からでもモデルとされる地域振興の社会技術「奈良女モデル」が開発できれば良いですね。非西洋圏の地方地域社会モデルとして、奈良は世界的に注目される場所になれると信じています。

教養広場

はやしだ さちこ

理学部
化学生命環境学科
環境科学コース
教授
林田 佐智子

——新設された理学部化学生命環境学科について教えてください。

改組により、理学部は「数物科学科」と「化学生命環境学科」というふたつの学科に生まれ変わりました。私の所属する化学生命環境学科の「環境科学コース」はさらに「地球環境科学」「数理生命システム」「生物環境学」「環境化学」の4つの分野に分かれます。その中で、私は地球環境科学分野を担当しています。

私たちは今、地球温暖化や生物の絶滅など、さまざまな環境問題に直面しています。毎年の気象状況を見ても、ゲリラ豪雨や猛暑などの異常気象で、地球の何かがおかしいと思ったことがあると思います。地球温暖化問題について、あらゆる分野から世界的な研究者が集まり、科学的知見を発表する報告書「気候変動に関する政府間パネル」

術力です。地球環境問題に対しての日本のこうした取り組みも知ってもらいたいのですが、大事なことは、この打ち上げ、観測によって何が分かっている、何が分かっていないのか。そして私たちはそれをもとに何をどう判断していかなくてはならないのかだと思っています。これからも便利さ、快適さを求めて二酸化炭素やメタンをたくさん排出する生活を送るのか。それとも地球の未来のために、そつではない生活を送るのか。現在、地球環境問題のとても深刻な場面に直面しているのだといえます。

また、現代の衛星観測では、そこにあるものだけではなく、「そこで人間が何をしているのか」を教えてください。たとえば、人工衛星で二酸化窒素(NO_2)を観測している、日曜日になると東京上空ではその濃度が低くなる様子が見られます。これは東京付近において、人間が日曜日に休んでいることを示しています。私の授業で行う「大気化学入門」では、人工衛星から大気中の大気微量成分を測る原理から応用例、観測された事例解析を講義します。現在の大気環境がどうなっているのか、少しでも興味を持ってもらえればと思います。

——この研究のおもしろさは何ですか。



(IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change)では、「地球温暖化は疑いようのない事実だ」と報告されています。このような人類が直面している地球規模の環境問題を解決していくためには多くの分野からの協力が不可欠です。

外に出て空を眺めたら、太陽が照り、雲があつて、そして夜になったら星が輝きます。自然豊かなところへ行けば川が流れ、そこには水があり、生物がいるし、歩けば石に当たるし、岩石があれば山もありますよね。森羅万象、生きとし生けるものすべてがあつてのことですから、ひとつの言葉では言い表せません。つまり、地学や生物学、化学など、縦割りの概念ではないということです。そこで従来の分野の枠にとどまることなく、地球環

私のモットーは「砂の中からダイヤを拾う」ことです。大気中の微量成分を分析することで、そこから見えてくるデータが私にとって

はとても興味深い。それは埋もれているものを掘り当てるような感覚であり、ときにはあぶり出すという感覚でもあります。最初はよく分からなくても、いろんな調査をしていき、いろんな要素を分類していくことで、だんだんと浮かび上がってくるんですよ。世の中で分かっていないことが多いほど面白いと感じます。メタンに関してはまさにそれです。いずれにしても、大気中の微量成分を見るときは、「砂の中のからダイヤを拾う」ことであり、何十億粒の砂の中から1つを探り当てることなので、とても面白い研究だと思っています。

卒業後はどういう活躍ができますか。私の研究室では衛星関係に関心がある学生や、環境に興味のある学生が多いですね。改組前の情報科学科であればSEが多く、就職先のほとんどが大手のIT企業や電機メーカー、自動車メーカーなどでした。改組後は気象庁や環境省、気象関係の会社やコンサルティング会社などが狙えるのではないかと考えています。同じIT企業でも衛星のシステム開発をしている会社も良いですね。ここで学んだスキルを少しでも仕事で活かしてほしいです。

今後の目標は？

インドなどの観測で誰も行ったことがないところへ行つて測定してみたいですね。今までは私自身、2人の子どもを育てながら研究してきましたので、長期で外国に滞在

境を総合的に捉えるコースとして環境科学コースをつくりました。——環境科学コースではどのようなことが学べますか？

まず、環境科学コースには地学と生物学、化学があります。その基礎を形成しているのが数学や物理。これらを理学全体で捉えると「総合理科」みたいなものといえます。さまざまな専門分野の先生がいて、それぞれの立場から地球の未来を考える。多様な力を集めて、地球環境問題に取り組みしましょうということをお勧めします。

私が担当している授業は1年生向けは「地球環境科学1」です。まさに気象学への導入のような、「気象って何?」「気圧って何?」といったことです。2年生向けには数値計算法という授業で、コンピュータで計算する方法のスキルを高めます。3年生では私の専門分野である「大気化学」の入門にあたる授業を予定しています。4年生では主に卒業研究ですね。NASAのホームページや研究者から情報を取り寄せ、データをとり出し、分析する。そして、各自が思う面白そうなことを切り出して、卒業研究論文を書いてもらう予定です。

——専門分野である「大気化学」について教えてください。

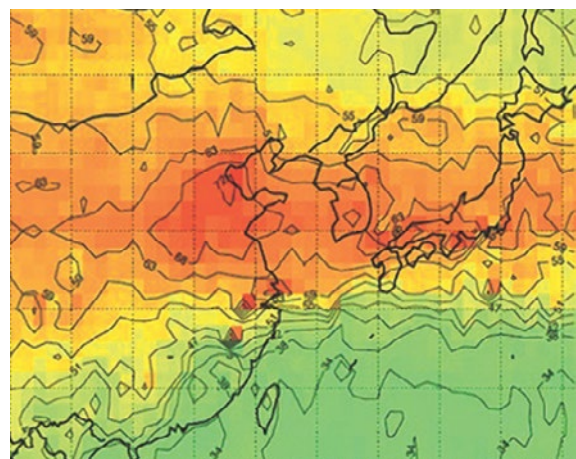
地球の大気で起こる気象現象や個々の流体現象を研究する気象学。簡単にいうと、風が吹いたり、雨が降ったりすることを研究する学問です。しかし、大気が汚染されていた場合は、気象学だけでは説明できないことがたくさんあります。そこで、化学分野の研究と組み合わせ「大気化学」という分野が生まれました。

大気中の「組成」のうち、ほぼ8割は窒素(N_2)、2割が酸素(O_2)です。これではほぼ100%になります。あとはごくわずかな化



するのは難しいことでした。子育てが終わわり、最近ようやく自分の好きなフィールドに出られるようになりましたので、もうひとつの目標は在職中に本を書きたいと思っています。地球温暖化問題のことについて、もっと皆さんに関心を持ってもらいたいので、本を書いてわかりやすく伝えることができたらと思っています。

理学部 化学生命環境学科 環境科学コース
教授
iCACGP(大気化学とグローバル汚染国際委員会)委員
文部科学省宇宙開発利用委員会委員など業務
林田 佐智子 はやしだ さちこ
【研究テーマ】
人工衛星で観測された大気中微量成分のデータから、温室効果気体や大気汚染物質の分布や時間変動を解析している。衛星関係では米国ハーバード大学やNASAとの共同研究など多数。また最近ではインドを中心にフィールドワークにも参加し、水田地域での空気採集を行い、水田から発生しているメタンの定量化に取り組んでいる。環境省のプロジェクト「GOSATデータ等を用いた全球メタン発生領域の特性抽出と定量化」をリーダーとして牽引中。
【担当授業科目】
地球環境科学1/数値計算法/大気化学入門/卒業研究



昨年6月、東アジアで検出された地表付近のオゾン分布

学物質が含まれますが、それらを「大気微量成分」と呼んでいます。大気微量成分である二酸化炭素(CO_2)、メタン(CH_4)、オゾン(O_3)が、ごくわずかな量でも地球環境問題に大きな影響を及ぼしています。その中でも、私は主にメタンやオゾンについて、人工衛星から観測したデータをもとに分析、研究をしています。人工衛星から地球を観測するといろいろなことが分かります。従来は大気中の「組成」を観測することはとても難しいことでした。近年になってようやく化学組成が観測できるようになりました。それによって、私たちの住んでいる地球上の大気環境についてさまざまなことが分かってきました。

——人工衛星によって何が分かるのですか？

人工衛星「GOSAT(いぶき)」をご存知ですか。これは日本がつくった世界初の温室効果ガス観測衛星です。2009年1月23日に打ち上げが成功し、現在も順調に観測を続けています。センサーを搭載し、二酸化炭素やメタンを衛星から観測し、データを公開します。日本が世界に誇れる高度な技

声

こえ

ゼミ生の

このゼミを選んだきっかけは？

高校生のころから環境問題に興味がありました。大学選びの際、奈良女のホームページを見て林田先生を知り、「この先生に学びたい!」と思いました。難しいこともありますが、イメージが湧きやすいようにジェスチャーを交え、多彩な工夫で伝えてくださるのでスムーズに理解ができます。学生との距離感がとても近く、私たちが研究しやすいように細やかなコミュニケーションを図ってくださり、研究に没頭することができます。

今後の目標は？

今はまだ先生の背中を追いかけていますが、いつかは先生がビックリするような発表ができるようになりたいです。また将来は、民間企業で、さまざまな環境問題に携わっていきたく考えています。どんな職場であっても、身近な環境問題については真剣に考えていかなければいけません。どうやったらその問題が解決できるのかを探り、その時に奈良女で学んだことが活かされればと思います。



毛家村友里子(けやむら ゆりこ)さん
大学院人間文化研究科
博士前期課程情報科学専攻1回生
出身校:京都女子高等学校

教養広場

生活環境学部
情報衣環境学科
生活情報通信科学コース
教授
城 和貴 じょう かずき

――授業ではどのようなことが学べますか？

私は現在、生活環境学部の情報衣環境学科に所属しています。「情報衣環境」とは、マルチメディア系の「情報」とアパレル系の「衣環境」を組み合わせたもので、1年生向けには「情報衣環境学概論」という授業を行っています。「情報衣環境学」とはどのような内容を分かってもらうことを目的とした、Oム二バス形式で行う講義です。

改組によって今年新設された新しい学科なので2年生はまだ開講していませんが、2年生以降は「人工知能」や「パターン認識」「マルチメディア」などについて学びます。「人工知能」とは、ロボットの頭脳の部分で、これと「パターン認識」までを学ぶと、理論的には自分でロボットが動くようになります。また、実験や演習に加え、情報処理技術者試験対策も行う予定です。IT系の企業に就職するならば、情報処理技術者試験の基本くらいは取得しておいた方が良いでしょう。

――研究されている「スマートヘルスケアナビゲーションシステム」について教えてください。
私たちが人間らしい生活を送るために必要なこと。それは健康であることです。このスマートヘルスケアナビゲーションシステムは、人間を見守り、サポートしてくれるシステムで、未病対策として健康維持管理に役立ちます。心拍や呼吸などの人間の生体情報を、衣服に取り付けた超小型センサーで常時測定し、測定したデータを大規模なクラウド上に蓄積されたデータから、利用者に何らかの問題があった場合には、即座にレコメンドをする。コンピュータの高性能化、各種センサーデバイス的小型化高性能化が進み、スマートフォンやタブレットがあればどこにいてもインターネットに接続できる環境であれば実現可能だと思います。

――具体的にどのような仕組みですか？

従来であれば、人のエネルギーを計測する場合、基礎代謝や運動量だけで計測されていましたが、このシステムでは、体を維持するためのエネルギーとして、仕事や癖などの「日常の動き」「無駄な動き」も測定します。運動以外の動きも全て計測した上で、身体全体でエネルギーがどれくらい消費されているかを計算します。

体のさまざまな箇所を測るため、服や体の各所に心拍計などのセンサーをつけることが必要です。これまではわざわざ心電図をとっていたものが、小さな1mm角くらいの



生活環境学部 情報衣環境学科 生活情報通信科学コース
教授
城 和貴 じょう かずき
【研究テーマ】
女性のためのヘルスケアナビゲーション/文化財3Dデジタルアーカイブ/
現代デジタルライブラリの自動テキスト化
【担当授業科目】
情報理論/マルチメディア情報工学/パターン認識/人工知能

チップを服などに装着するだけで、それが可能になります。つまり、「服を着る＝心拍計をつける」ということです。
測定した健康状態のデータをスマートフォンなどのBluetooth(無線通信)でインターネットを経由し、クラウド上に蓄積していきます。クラウド内では、さまざまな人の情報をもとにしたデータベースを作成しておきます。その中で識別が行われ、「気温20℃、湿度40%の状態で、体温が36.8℃、心拍数が60bpm」というデータが抽出されます。そのデータによって、システムの利用者には、「体温が急激に上昇しています。涼しい場所へ移動してください」などのヘルスケア情報がメールで届くようになります。このシステムを利用することで、日常生活において自分の健康に合ったヘルスケアが可能になります。

最終的には、「人類最高のお医者さん」まで発展させたいと思っています。名医と呼ばれる人は、その人にしかないノウハウを持っていますよね。医学体系の中にあつて医者が共通で分かること以外に、いわゆる神がかり的な判断ができるお医者さんが世の中にはいるわけです。それに近いところまで実現できればと考えています。

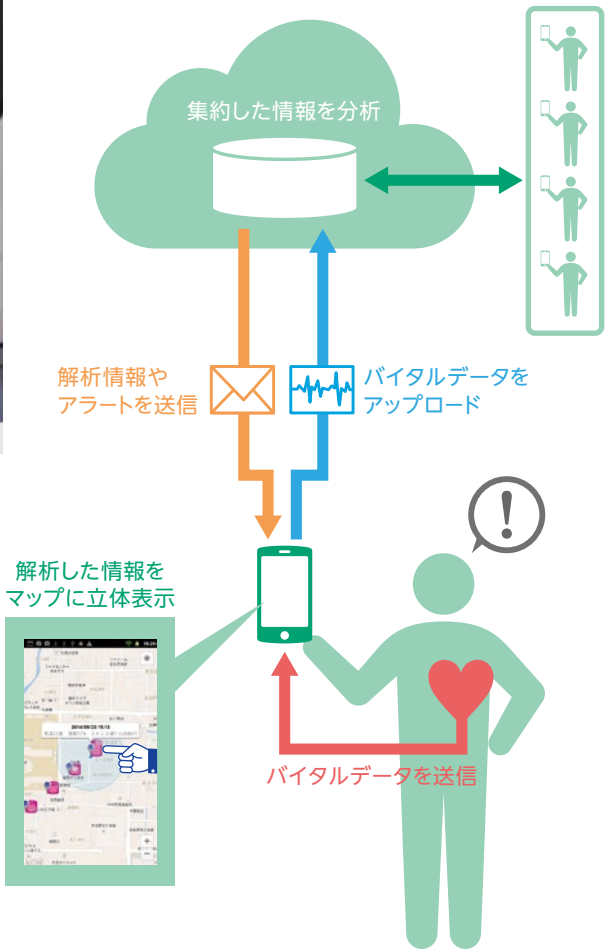
――この分野の魅力は何ですか？

たとえばダイエット。若い女性であればとても興味があると思います。ダイエット本などがたくさん出ているので、ダイエットをやつては失敗し、やつては失敗しを繰り返している人もいるかもしれません。そのような人がこのシステムの勉強をすれば、自分が今までやってきたダイエットがいかに間違つたものだったかが分かります(笑)。

このシステムでは、自分の行動を分析することで自分にふさわしいダイエット方法が見えてくるはずなんです。何万人、何十万人とユーザーが増えることで、その中で自分と同じような傾向のグループが見つけれられます。そうすれば、そのグループの人たちにとって良いダイエット方法が提案できるようになります。今回はダイエットを例にお話ししましたが、本来は痩せるためというよりも、健康的な体をつくるためのもの。自分にとって身近なもので考えると、このシステムの面白さがより深く分かると思いますよ。

――今後の目標について教えてください。
企業と組んで、スマートヘルスケアナビゲーションシステムを商品化したいですね。

今後いくらでもビジネス化していきけると考えています。たとえば、企業での利用例として、こういうことが考えられます。まず、社員全員がこのシステムを利用してもらう。社員が出社している時間に、出勤管理と健康管理という名目で心拍計のデータをとります。それが出勤簿になりますね。そして実際に心拍計を測ることで社員のストレス値が分かります。それにより「〇〇部長の周りについている人がストレスを受けている」などということが分かります。人の組み合わせを替えるだけで、うつ病対策になるかもしれません。このシステムを導入し、社員の配置を決めるだけでうつ病が減るならば、仕事の作業効率が上がります。企業にとつても有益なのではないでしょうか。
健康維持管理のほかにも、ストレスの少ない経路を選ぶカーナビや学校での教育効果測定など、さまざまな分野への応用も期待できます。将来的にこれらのビジネスが進展していくとしたら、情報衣環境学科の卒業生たちには、その一番のエキスパートになつてほしいと願っています。



――このシステムのメリットは何ですか？

このシステムでは、同じような気温、湿度であっても、その人の置かれた条件によって症状はさまざまです。システム利用者が増えることで何千万人、何億人というデータが一箇所に集まってくる。すると、データによって詳細な分類ができるようになりますよね。たとえばそのデータをもとに、ある

声

ゼミ生の

どんな研究室ですか？

自分がやりたい研究を自由にさせてくれるのが城研究室の良いところだと思います。また、社会に出たときに即戦力で働ける人材に育てると言ってくださり、アグレッシブな状況で研究ができるのも魅力です。研究に関する簡単な問題であれば、先輩に気軽に聞くことができますし、深刻な問題であってもすぐに先生に聞くことができます。個性的なメンバーが集まっているのに、組織体系がしっかりしているのでまとまりが良く、個々がのびのび研究できています。

城先生はどんな人？

良い意味で放任主義ですね。ただ、私たちをしっかりと見てくださっていて、ダメなところは「君のここがダメだよ」といった的確なアドバイスをくださいます。学業だけでなく、社会に出たときに、その人が活躍するための資質を伸ばそうという気持ちでアドバイスをくださいます。あとは、意外にグルメな一面があります。食材にこだわって料理をつくり、たまに差し入れてみんなに食べさせてくださることもあります。エビがいっぱいあったパエリアは最高においしかったですよ!



城 研究室のみなさん(大学院人間文化研究所所属) 左から
江口由記(えぐち ゆき)さん 出身校:奈良県立郡山高等学校
石川由羽(いしかわ ゆう)さん 出身校:愛媛県立川之江高等学校
岩片悠里(いわかた ゆり)さん 出身校:大阪府立茨木高等学校
野村涼子(のむら りょうこ)さん 出身校:京都府立西城陽高等学校

気持ちに寄り添う

大学内の国際協力サークルで活動するうち、海外ボランティアに興味を持つようになりまし。なかなかピンと来るものが見つからず、いた2回生の冬、たまたま参加したイベントで、海外で住居建築プロジェクトを展開する学生団体に会いまし。各国のボランティアが一堂に集まり、現地の家族や地域の人々と一緒に数十件の家を建てる活動への参加者を募っており、ただ与えるだけの支援ではなく、自立も同時に支援している点に共感し参加を決意しまし。

そして3回生の夏、ベトナムの低所得家族を対象とした2週間の住居建築活動に参加しまし。現地の大工さんの指導のもと、セメント作りやレンガ積みなどの作業を行いました。現地の方とは言葉が通じず、意思疎通に苦労しまし。作業が進むにつれ仲良くなっていくはずが、会話が減り、よそよそしい雰囲気、自分がベトナムまで来た意味はなんだったのだろうと、毎日悩みまし。

しかし、遠かった心の距離がぐっと近くなる出来事がありました。家主さんのプロフィールを、彼女もいる中チームで共有した時のことです。私はあの時の空気と、彼女の何とも言えない表情を忘れることができません。古い家は屋根や壁に穴が開き、レジ袋で塞いでいる。公共の水道水は週2回のみ



門田 里菜
もんだりな
文学部言語文化学科
日本アジア言語文化コース4回生
出身校：鳥根県立益田高等学校



作業の様子

で、不衛生な溜め池の水を料理や飲み水に利用している…。厳しい現実には衝撃を受けると同時に、新しい家が彼女たちにどれだけ希望を与えるか痛いほど感じ、自分達にできることを精一杯したいと強く思いました。家主さんも私たちの想いを感じ取ったようで、皆とても静かでしたが、お互いの心が通じ合ったと確信した瞬間でした。相手の気持ちに寄り添うことで、あの時確かにうまれた絆を、私は決して忘れません。

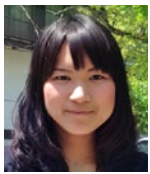
「学び」を生かして

「奈良親子レスバイト」と出会ったのは昨年の4月でした。「レスバイト」とは「休息」を意味し。難病や障害を持つ子どもとその家族と一緒に休息する機会を提供すること、それが「奈良親子レスバイト」の活動です。私は大学で学んできた「食」を通して活動に参加できることに魅力を感じ、この活動への参加を決めまし。

私の主な活動は、親子レスバイトの際に参加者の方へお食事を提供することです。提供のお食事は「おもてなし」の心にあふれています。五感すべてでおいしい献立はもちろんのこと、材料には地場のお野菜をふんだんに使い、盛り付け用のお皿も一枚一枚丁寧に選びます。そしてゆつたりとした和やかな「共食」の場を提供しています。こうしたお食事の提供を通して、「食」は身体にとってだけでなく、心にとっても栄養になるといふことを私は身をもって感じまし。

活動に参加して感じたことがもう一つあります。それは、豊かに深く生きることの大切さです。とてもゆつたりとした心温まる時間を参加者の方と共に過ごすことができまし。参加者の方が喜んで帰られる姿を見たときには、とても晴れやかな気持ちになつたことを今でも鮮明に覚えています。

今年の1月には「奈良親子レスバイト」の普及充実を目的に第5回市民交流セミナーが行われまし。私は食事ボランティアとして講演する機会をいただきました。約180名の前の講演は緊張しましでしたが、この活動を通じて感じた「食」に対する想いを伝えることができました。大学で学んできた



加藤 玲奈
かとうれな
大学院人間文化研究科
博士前期課程食物栄養専攻2回生
出身校：名古屋市長久里高等学校

「食」を通して活動に参加できたことは、私にとって大きな財産です。今後この経験を生かし、「食」を通して社会に貢献していきたいです。



レスバイト活動最後の集合写真



レスバイト活動中の若草山散策の様子

研究者への一歩

「実はこんなイベントがあるんだけど…」これがサイエンス・インカレとの出会いでした。サイエンス・インカレは、自然科学分野を学ぶ全国の学生が自主研究の成果を競い合う場として文部科学省が主催している大会です。果たして自分たちにこんな大会があることができるのかと不安もありまし。面白そう楽しそうと興味を湧き、一歩成長する機会にしたいとゼミのメンバー3人で参加を決意しまし。

まず書類選考に向け研究テーマを見つけることから始まりまし。普段の講義とは異なり、自分たちで一から作り上げなければなりません。最初はどこから取り掛かったらいいのか見当もつきませんでしたが、先生の助言を受けながら研究を進めるうちに、必



当日のポスター発表風景（幕張メッセ国際会議場）

要なことが次から次へと見えてきて、気づいたら夢中になっていままし。壁にぶつかった時は先輩に助けをもらいながら研究を進め、発表することになった「領域交差交換を利用したスイッチシステムの安全性について」の結果を発見した時の喜びは忘れられませ。無事書類選考を通過しポスター発表部門への出場が決まりまし。理論的な内容を如何に理解し易いものにするか検討を重ねた結果、実際にその理論を実現したスイッチシステムを作ることになりました。入念に準備をしたお蔭で当日は自信をもって発表することができました。惜しくも賞は逃してしましまし。他分野の方との交流会、最先端で活躍されている科学者の講演会など、今まで知らなかつた世界に触れることもでき、得たものはとても大きかつたです。

このような機会を与えてくださった先生と一緒にやりきってくれたゼミの仲間には本当に感謝しています。科学が好きな後輩たちにはぜひサイエンス・インカレに参加してほしいと思ひ、私たちがこの経験を活かしながら研究に取り組みたいです。



法橋 厚美
ほつさよう あつみ
大学院人間文化研究科
博士前期課程数学専攻1回生
出身校：鳥根県立松江北高等学校

松島 杏奈
まつしま あんな
大学院人間文化研究科
博士前期課程数学専攻1回生
出身校：静岡県立磐田南高等学校

久野 由紀子
くのゆきこ
大学院人間文化研究科
博士前期課程数学専攻1回生
出身校：大阪府立高津高校

卒業生からのメッセージ

生徒と夢を追う

私は、小学生の頃から学校の先生になるという夢を持っていたものの、将来の道をそれぞれに絞る勇気がなく、教育大学ではない奈良女子大学の文学部に進学しまし。奈良での4年間は、大学の講義・研究だけでなくアルバイトや部活動に忙しい日々を過ごしまし。が、附属の中等教育学校での教育実習も刺激となり、結局教員になりたいという夢は変わらなせんまし。

大学の講義や研究では、高校の現代文の教科書に載っている夏目漱石「坊っちゃん」や森鴎外「舞姫」を扱いまし。自分が高校生の際に受けた授業を思い出しながら、それとは違う解釈をする新しい文学の読み方に驚き、夢中になりました。人は新しい何かを知るとワクワクするものです。卒業論文も教育現場で文学作品がどのように扱われて、どのような役割を担っているのかをテーマに研究をしまし。四回生の一年間で答えが出るようなテーマではなく、私は今もその延長線上にいます。大学生の頃の私に「番付けていたのは、現場の感覚。その教材で授業をするこによって、生徒にどのような力をつけさせ、その力は社会に出た時にどう役立つか、という意識です。今、生徒



成戸 紀月
なるときき
文学部言語文化科日本アジア言語文化コース
現愛知県立名古屋西高等学校国語科教師
出身校：愛知県立五条高等学校

たちを目の当たりにして、何かを教えることの責任を感じています。文章を読んで胸が高鳴る楽しさを伝えるだけではなく、生徒たちの「生きる力」を育てるためにはどうしたらいいか、毎日試行錯誤しながら授業に臨んでいます。

実際のところ授業をしてみると、考えもしなかつたような発想が生徒から出てきて、私が幾度生徒たちにワクワクさせられたかされませ。この先も、奈良女子大学で見つけた自分のテーマを、生徒たちとともに考え、一緒に成長していきたいと思っています。



古典の授業中の風景

暮らしの中の社会心理学



安藤 香織
あんど かおり
生活環境学部
生活文化学科
准教授

ナカニシヤ出版
2012年3月31日発行
2200円(税別)

「どつて自分のモノはなかなか捨てられないのだから」「どつていう時に人を好きになったり嫌いになったりするのだから」など、日常生活には人間の行動で不思議に思うことがたくさんあるのではないだろうか。

暮らしの中で不思議に思うこと、そのほとんどが社会心理学と関係があると、言ってもよいかもしれません。なぜなら、社会心理学は人間の行動を科学的に分析する学問であり、日常のほとんどの現象が人間の行動と結びついているからです。

この本は、これまで社会心理学に接したことがない人を含めて、より多くの人に社会心理学を身近に感じてもらいたいと企画しました。社会心理学の教科書、と呼ばれる本はたくさんあります。その中でこの本のユニーク

なところは、身近なトピックをとりあげ、そこから社会心理学の理論を紐解いているところです。対人魅力やコミュニケーションから、暮らしの中のリスクへの対処、モノを買うことから捨てること、環境問題など幅広いトピックを取り上げています。

またこの本の中では、各章に「話し合ってみよう」と「エクササイズ」を入れていきます。これは、ただ講義を聴くだけでなく、自ら体を動かして能動的に学習することによって、より理解してもらえ、と考えているためです。

社会心理学のネタは、どんなところにも落ちていきます。それを自分で調べる楽しさを体験してもらえれば、と思います。

定本 何かが空を飛んでいる



横山 茂雄
よこやま しげお
文学部
言語文化学科
教授

国書刊行会
2013年11月25日発行
3200円(税別)

本書の元版「何かが空を飛んでいる」をペンネームの稲生平太郎名義で刊行したのは1992年のことですが、何と20年以上経過しての復刊となります。主題となっているのはいわゆるUFO、空飛ぶ円盤ですけれど、同時に、そういった説明ではおそろく大きな誤解を招くことになるかもしれません。なぜなら、UFOは実在する、あるいは、錯覚、虚構に他ならないといった立場から執筆されたものではないからです。

たとえば、UFO目撃報告の多くは空を飛ぶ正体不明の光にすぎず、このような光なら古代このかた世界各地の様々な神話、伝説のなかに発見することができます。また、UFOといえ

ば宇宙人がつきものではないが、欧米における「宇宙人」との遭遇報告は、19世紀以前の妖精をめぐる伝承との驚くべき類似を見せています。

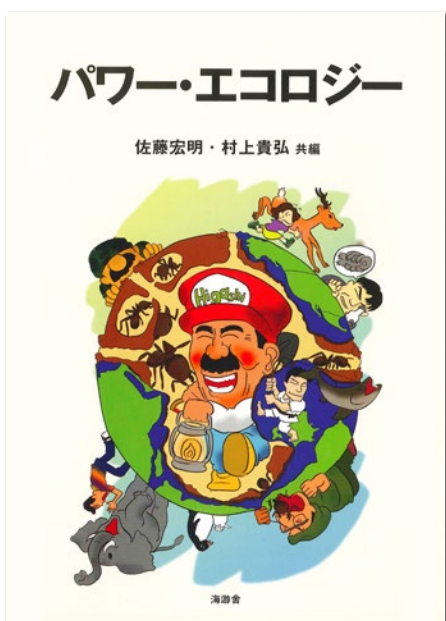
要するに、空に神秘的な光を見る、あるいは、異界の存在に出会うという体験は、わたしたち人類の文化を構成する普遍的な要素のひとつであり、UFOや「宇宙人」も、現代的な装いをまとってはいるが、本質においてはまったく同じものではないか……こつこつとした観点から論じた本です

で、UFOや不思議なものに興味がある方だけでなく、神話学、民俗学、文化人類学などに関心のある方にも読んでいただければ幸いです。

本学教員が執筆した図書をご紹介します

こんな本を出しました 教員著書紹介

パワー・エコロジー



佐藤 宏明
さとう ひろみ
理学部
化学生命環境学科
准教授

海游社
2013年3月16日発行
3600円(税別)

書名のパワー・エコロジーは、私の恩師(表紙に描かれているように、その容貌からスーパーマリオともサダム・フセインとも譚名されています)の口癖である「生態学は体力と気合いだ」「面白いと思うならとにかくやってみる」「頭はついてりゃいい。中身はあとからついてくる」に由来します。そして訳せば「力業(ちからわざ)の生態学」となります。本書はそんな恩師の薫陶を受けた教え子たちの実践記録です。

パワー・エコロジーでは、研究対象の選択基準は好奇心だけです。だから、学生が選んだ調査地は中米、ボルネオ、オーストラリア、アフリカ、果ては南極へと至り、扱う生物は藻類からク

マムシ、昆虫、魚、鳥、エゾシカ、そしてサルと多種多様です。研究の観点も十人十色、研究室としての一貫性は皆無です。

そんな研究室の足跡を本にするこつこつとした意味があるのか?現在の学生の多くは仮説・検証型の研究方法で課題に取り組んでいると思います。確固たる成果が見通せない現場発見型の研究は敬遠されがちです。しかし、研究の原点は「面白そう」「知らない土地に行ってみよう」という単純な思いと、研究にかける情熱のほです。そつであるならば、パワー・エコロジーは学生の精神的支柱だけでなく、現任教員にも指導上の指標となるのではないかと思うのです。

まほろば叢書の近刊より



小川 伸彦
おがわ のぶひこ
文学部
人文社会科学
教授

かもがわ出版
2014年3月20日発行

まほろば叢書をご存知でしょうか。本学文学部が刊行しているシリーズです。「文学部的知」の成果を古都奈良から届けたいという願いから、2012年に発刊されました。

近刊のうち、「ペネディクト・アンダーソン 奈良女子大学講義」は水垣源太郎准教授と小生の共編です。アンダーソン氏は、主著「想像の共同体」で世界的に有名な政治学者。一昨年、アジアコスモポリタン賞を受賞され、その際に本学で「アジアのナショナルリズム」と題して講義をされました。東アジアの国境問題から女性政治家の国際比較までにわたる語り口をぜひ伝えたく、学生・院生等有志とともに英文テープ起こしから翻訳ま

記録も載せました。叢書第5巻の「徒然草」ゼミナールは、言語史・翻訳論・印刷史が専門の鈴木広光教授の編著です。一読、あつと驚く内容。吉田兼好自身が書いた「徒然草」(現存しない)に迫りうる主眼二つの伝本の異同を綿密に比較し、新しい解釈が提出されています。たとえば、おなじ箇所が伝本によつて「あなた／こなた」とゆらいでいるのはなぜなのか……。驚くのはその検討から見事な解釈を展開するのが鈴木教授ではなく、「国語学演習」の学部学生だからです。単なる(失敬!)授業なのに、書籍にできるほどの成果をあげてしまう学生たち。あつぱれ。ナラジヨ魂は健在です。

で行い、本学教員15名による討議

合気道部

主将
伊藤 愛恵
いとうめぐみ
理学部数学科2回生
出身校：大阪府立高津高等学校



奈良女子大学合気道部は3回生5名、2回生7名、1回生現在9名の21名で活動しています。ほとんどの部員が大学から合気道を始め、その中には大学に入るまで運動をしたことがないという人もいます。

合気道部は1年間に昇級昇段審査や演武会のような大きな行事があり、それらを通して技を磨き、稽古に励んでいます。そして、奈良女子大学体育会合気道部はそれらの行事に積極的に参加し、そこで高い評価をいただいています。また、それらの行事以外にも合宿や他大学との合同稽古などがあり、学外の方との交流も深めています。

合気道は、他の武道と違い、相手を倒すことを目的としていません。したがって、自分の方から仕掛けることはなく、相手が仕掛けてきた時に初めて技をかけます。また、合気道は相手の力を利用するので、私たちのような力の弱い女性でも技をかけることができます。これはただ単に力を使わないということではなく、無駄な力を使わないということ、人間には力の入らない部分があり、合気道はそこをいかに利用



するかが重要で、その部分を用いることで力を入れずに技をかけることができるのです。力を入れていないので、相手も変に構えることなく、気が付いたら技をかけられていたということも起こりえます。

私は合気道を始めてから、身を守る力や礼儀作法、心の強さなどが身についたと思います。身を守る力というのは、技をかけるということではなく、自分の弱い所を相手に見せない、つまり「隙を見せない」ということです。これは礼儀作法などにもいえ、この経験は、これから社会に出て行くにあたって大きな支えとなってくれていると思います。



奈良女子大学では、課外活動や社会的活動などで特に顕著な成果を挙げた学生の個人又は団体を年に一度表彰しています。平成25年度の表彰式が、平成26年2月12日(水)に行われました。受賞者・団体は以下の通りです。(学年は平成25年度のもので)

学生表彰

【個人表彰者】

氏名	所属	サークル等	表彰対象となった業績
吉田 瞳美	生活環境学部生活健康・衣環境学科3回生	-	2012 Retail Strategies Competition 第2位(H24.11.28)
福山 由貴子	理学部数学科3回生	合気道部	第33回 関西学生合気道競技大会 演武競技女子対武器の部 第2位(H25.6.9)
			第44回 全日本学生合気道競技大会 演武競技女子対武器の部 第2位(H25.10.19)
			第32回 関西学生合気道新人競技大会 演武競技女子対徒手の部 第3位(H24.12.9)
南 美由紀	生活環境学部生活健康・衣環境学科3回生	合気道部	第32回 関西学生合気道新人競技大会 演武競技女子対武器の部 第2位(H24.12.9)
			第44回 全日本学生合気道競技大会 演武競技女子対武器の部 第2位(H25.10.19)
石川 葉子	理学部情報科学科3回生	合気道部	第30回 合気道大阪武会本部演武大会 大学生女子級部 最優秀演武賞(H24.12.23)
			第32回 関西学生合気道新人競技大会 演武競技女子対徒手の部 第3位(H24.12.9)
太地 彩	理学部物理科学科3回生	合気道部	第33回 関西学生合気道競技大会 演武競技女子対武器の部 第2位(H25.6.9)
西原 由衣	理学部生物科学科3回生	合気道部	第29回 合気道大阪武会本部演武大会 大学生女子新人の部 最優秀演武賞(H23.12.17)
			第32回 関西学生合気道新人競技大会 演武競技女子対武器の部 第2位(H24.12.9)
多喜 すみれ	文学部人文社会学科2回生	ソフトテニス部	第51回近畿地区国立大学体育大会 ソフトテニスの部 女子個人 第3位(H25.8.31)
浅村 裕実	理学部数学科1回生	ソフトテニス部	第51回 近畿地区国立大学体育大会 ソフトテニスの部 女子個人 第3位(H25.8.31)
橋 舞依	文学部人間科学科3回生	硬式テニス部	第37回 奈良学生テニス選手権大会 女子シングルス 優勝(H25.11.30)
			第37回 奈良学生テニス選手権大会 女子ダブルス 優勝(H25.12.1)
西村 和紗	理学部情報科学科3回生	硬式テニス部	第37回 奈良学生テニス選手権大会 女子ダブルス 優勝(H25.12.1)

【団体表彰者】

サークル等	表彰対象となった業績
硬式テニス部	第51回 近畿地区国立大学体育大会 テニスの部 女子 優勝(H25.8.15)
ソフトテニス部	第51回 近畿地区国立大学体育大会 ソフトテニスの部 女子団体 第3位(H25.8.31)
バドミントン部	第51回 近畿地区国立大学体育大会 バドミントンの部 女子団体戦 第3位(H25.8.20)
音楽部	第68回 関西合唱コンクール 大学職場一般部門 大学ユース合唱の部 少人数 銀賞(H25.10.30)



国際交流

NZ研修を終えて

春休みの短期留学プログラム、NZ研修に参加してきました。英語を使うことをあまり恐れなくなりました。聞き取れなかった英語も少し聞き取れるようになり、最初は苦痛だったホストファミリーとの会話も楽しめるようになりました。会話の中では、英語力が乏しい分ジェスチャーを取り入れたり表情を変えたりすることで、自分の意思がより相手に伝わるよう努めました。

NZで開催された日本の祭り、カンタベリー・ジャパンデーでの出店は1ヶ月の中で最も印象深い経験の一つです。習字体験を企画したところ多くの子どもたちが参加してくれ、賑やかなブースでした。日本や大学のことを聞かれたものの英語で説明できず悔しい思いもしましたが、それが1ヶ月の研修の最初に体験できたのでその後の授業に身が入りました。たくさんの方が笑顔でブースをあとにしてくれ、半年間準備した甲斐があったと思います。

この短期間で考え方や生活スタイルが異なる人たちと出会い、日本にはない考え



ホストファミリーと

に触れたことで今までの固定観念が薄れ、新しい考え方ができるようになりました。日本にいるときの自分とは比べられないほど積極的に動くことができ、充実した1ヶ月でした。今回得た経験、つながりはこれからも大切にしたいです。

金池 綾夏

かないけ あやか
理学部生物科学科2回生
出身校：奈良女子大学附属中等教育学校

奈良女子大学では、海外の各協定大学との交換留学プログラムの他、夏休みや春休みの長期休業期間を利用した短期研修プログラムを実施しています。今回は、今年の2月にニュージーランドで1ヶ月間の海外研修に参加した学生と、昨年からドイツのトリアー大学に交換留学中の学生に、それぞれの留学期間を振り返ってもらいました。

交換留学

私の留学先トリアーは、紀元前16年にローマ皇帝によって建設されたドイツ最古の街です。小さく緑あふれる自然豊かな美しいトリアーへ、ドイツ語を本場で学びたい一心で留学を決めました。

トリアー大学には日本学を学んでいる学生が多くいるため、ドイツ人と交流の機会を多く持つことが出来ます。とりわけ、共に互いの言語を磨き合うタンデムパートナーと過ごす時間は、学びが多いだけでなく、心の底から楽しいものでした。辞書を引くだけでは分かりにくい言葉のニュアンスを尋ねたり、お互いの国の料理を一緒に作ったり、長期休暇には実家に招待してもらったり、彼らとの交流によってドイツという国をより一層身近に、肌で感じることができました。

大学の授業では、疑問を持って取り組んだり、自分の意見を積極的に発言したりすることが求められ、ドイツ人やその他の外国人の学びへの真摯な姿勢に圧倒されましたが、そこから積極性や貪欲に進歩を求めることを学びました。今回交換留学という素晴らしい機会を



タンデムパートナーと

いただいたことに感謝し、今後の人生において今回の経験を活かして視野を広く持ち学び続けたいと思います。

足立 早紀

あだち さき
文学部言語文化学科
ヨーロッパ・アメリカ言語文化学コース3回生
出身校：龍澤瑞浪高等学校

平成27年度入試情報

大学院博士前期課程・後期課程の入試についてはホームページをご覧ください。

▶ http://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/nyusi2_b.html

学部	学科等	入学定員	日程区分・募集人員					学べる内容	
			一般入試		AO入試	推薦入試	私費外国人留学生入試		
			前期日程	後期日程					
文学部	人文社会科学	60					時間(歴史)・空間(地理)・関係(社会)をテーマに学びます。古代文化学、歴史学、社会情報学、地域環境学、文化メディア学の5コース制。		
	言語文化学科	50	99	45	6	—	若千名	世界の主要言語・文学・文化現象を学び、国際社会で活躍する人材を育成します。日本アジア言語文化学とヨーロッパ・アメリカ言語文化学の2コース制。	
	人間科学科	40					若千名	社会と文化における人間と人間相互の生の営みに焦点をあわせ、人間の存在と形成について総合的に学びます。教育学・人間学と心理学の2コース制。	
	小計	150	99	45	6	—	若千名		
理学部	数物科学科	63	35	20	—	8	若千名	自然現象に対して数理的手法を駆使し、広い視野を持ち、変化し続ける社会に対応できる人材を育成します。数学、物理学、数物連携の3コース制。	
	化学生命環境学科	化学コース	23			4	若千名	物質や生命とそれらを取り巻く地球環境を総合的に捉えた視野を持つ人材を育成します。化学、生物科学、環境科学の3コースがあります。	
		生物科学コース	23	12	—	4	若千名		
		環境科学コース	17			4	若千名		
小計	150	98	32	—	20	若千名			
生活環境学部	食物栄養学科	35	25	10	—	—	若千名	専門性の高い講義や実験、実習を通じ、食と栄養のプロフェッショナルを育成します。所定単位修得で栄養士免許や管理栄養士受験資格などが得られます。	
	心身健康学科	40	22	10	—	8	若千名	心と身体の健康について総合的に学びます。生活健康学、スポーツ健康科学、臨床心理学の3つのコースがあります。	
	情報衣環境学科	衣環境学コース	35	10	5	—	5	若千名	安全で快適な衣環境の構築やライフコンピューティングにより生活改善の能力を培います。衣環境学と生活情報通信科学の2コース制。
		生活情報通信科学コース	10				5	若千名	
	住環境学科	35	24	7	—	4	若千名	安全・安心で快適に生活できる住環境を創造できる力を培います。学びの対象はインテリア、建築から地域コミュニティ、都市計画と広範囲に及びます。	
	生活文化学科	30	18	7	—	5	若千名	生活を取り巻く様々な文化現象を、法律・歴史・ジェンダーなど多様な視点から分析します。生活文化の向上に貢献できる人材を育成します。	
小計	175	109	39	—	27	若千名			
合計		475	306	116	6	47	若千名		

備考 (1) 文学部においては、前・後期日程とも、学科別の志望は認められません。第2年次から各学科に所属することになります。その際、定員を超過する学科については選考を行うことがあります。なお、AO入試については、本学が指定する2つの分野の中から1つを選択して志望してください。
 (2) 理学部数物科学科においては、第2年次から数学コース、物理学コース、数物連携コースのいずれかに所属することとなります。理学部化学生命環境学科前・後期日程では志望するコースを選択してください。なお、前期日程においては第3志望まで、後期日程においては、コース毎の募集人員は定めていませんが、学科内で第2志望までコース選択することができます。
 (3) 生活環境学部においては、前・後期日程とも第3志望まで学科(情報衣環境学科はコースまで)を選択することができます。
 心身健康学科においては、第3年次からコースに所属することになりますが、定員を超過するコースについては選考を行うことがあります。
 情報衣環境学科については第1年次からコースに所属することになります。後期日程については、総合得点により衣環境学コース及び生活情報通信科学コースを一括で合否判定します。
 (4) 各学部学科で受験を要する教科・科目、配点及びその他入試に関する詳細情報については必ず平成27年度入学者選抜要項を確認してください。
 (5) 各学部の前期日程の募集人員には、本学附属中等教育学校との高大連携特別教育プログラムに基づく特別入試による募集人員(文学部2名以内、理学部2名以内、生活環境学部3名以内)を含みます。
 (6) 私費外国人留学生入試は、各学部の入学定員外で募集します。

公開講座情報のご紹介

今夏以降開催の公開講座を紹介します。詳しくはホームページでご確認、または社会連携センター(tel:0742-20-3968)までお問い合わせください。

▶ <http://www.nara-wu.ac.jp/liaison/lecture/info4.html>

講座名	開催日	会場	受講対象者	募集人数
弦常波およびマイクロ波手作り実験	8月1日(金)	附属中等教育学校	教員	10人
パソコン講座 Adobe illustrator CS6	8月7(木)8日(金)	情報処理教育室	一般	40人
パソコン講座 Microsoft powerpoint 2010	8月11日(月)	情報処理教育室	一般	40人
パソコン講座 Microsoft excel 2010	8月12日(火)	情報処理教育室	一般	40人
身近にひそむ数学の構造	8月20日(水)	G101教室	一般	100人
パソコン講座 HTML&CSS速習講座	8月21日(木)	情報処理教育室	一般	40人
パソコン講座 Microsoft word2010	8月22日(金)	情報処理教育室	一般	40人
パソコン講座 HTML&CSS速習講座	8月23日(土)	情報処理教育室	一般	40人
正倉院宝物から見てくる聖武天皇像	8月30日(土)	記念館	一般	100人
数学・物理・情報科学の未解決問題	10月18日(土)	理学部会議室	一般	50人
ミクロな不思議とマクロな不思議 ～物質科学を中心として～	10月予定	未定	未定	未定
食に関する最近の話題	11月1日(土)	コラボレーションセンター 3階Z306	一般	70人
増質上人行業記絵巻を読み解く 奈良地域関連資料画像データベースより	11月予定	S棟大教室	一般	100人

学生の就職活動の現況と奈良女子大学の取り組み

奈良女子大学では、学生が卒業後に社会の第一線で活躍できる高度専門職業人となるために、在学時から将来を見据えてキャリアを形成・開発するとともに、自立した人間として「考え・判断し・行動できる力」を養っています。あわせて、幼稚園から高等学校までの教職課程を設けており、また所属する課程によっては、栄養士や管理栄養士(受験資格)等の各種資格を取得することができるため、卒業生はこれらの資格を生かして、社会の様々な舞台で活躍しています。また学士課程卒業後、本学大学院人間文化研究科博士前期課程に進学する学生も少なくありません。特に理学部では約60%の卒業生が博士前期課程に進学し、それぞれの専門分野を修め、修了後は希望者の多くが高い専門的能力を有する専門職業人として、様々な企業や公的機関に就職しています。平成25年度の就職率は、前年度と同様の高い水準を保つ結果となっており、安定した就職実績を誇っています。平成26年度卒業・修了生に対する求人も前年度に比べ増加しており、本年度の就職率についても前年度と同様の結果が期待できます。大学および学生を取り巻く環境は、近年めまぐるしく変化しており、平成27年3月に卒業・修了する学生から「採用選考に関する企業の倫理憲章」の変更で活動開始時期が遅くなることが決まっています。このため、奈良女子大学では、キャリア教育・インターンシップ等を通じて学生の普遍的な能力の育成に取り組むとともに、就職活動支援のための組織・プログラムを設け、同窓会組織とも連携し、社会の変化に対応した学生のバックアップ体制を整えています。

平成25年度の実績 (詳しくは<http://koto.nara-wu.ac.jp/syusyoku/syusyoku.htm>をご覧ください)

- 文学部 : 就職者123名(就職率91%<前年度91%>) : 大学院進学者30名
- 理学部 : 就職者68名(就職率92%<前年度96%>) : 大学院進学者120名
- 生活環境学部 : 就職者104名(就職率95%<前年度94%>) : 大学院進学者33名
- 大学院博士前期課程 : 就職者114名(就職率89%<前年度82%>) : 博士後期課程進学者21名



文学部	人文社会科学	バン・データシステム(株)・奈良県農業協同組合/アルケア(株)/川崎近海汽船(株)/共立製薬(株)/日本生命保険相互会社/株日本総研情報サービス/株阪急アクトフォー(株)フューチャーインフィニティ/丸大食品(株)/丸紅紙パルプ販売(株)/株CSFコーポレーション/社会福祉法人聖徳園/東京海上日動火災保険(株)/古川国際特許事務所/ラモナー(株)/株宙出版/株紀陽銀行/近鉄ケーブルネットワーク(株)/国立大学法人京都大学/株ジェアール西日本マルニックス/ひかりのくに(株)/株北陸銀行/株マイナビ/株淀川製鋼所/航空自衛隊/国土交通省/厚生労働省愛知労働局/厚生労働省岡山労働局/白山市/浜松市/奈良県/加東市/日黒区/生駒市/王寺町/京都市/鳥取県/福岡市/和歌山市/滋賀県教育委員会(高校)
	言語文化学科	株山陰合同銀行/富山県信用組合/福山市農業協同組合/富士機工(株)/株ワコール/アソート(株)/伊藤忠ロジスティクス(株)/大阪ガス(株)/株大林組/京セラ(株)/コニカミルタ・ビジネスソリューションズ(株)/シオ/ギ総合サービス(株)/日本コントロールシステム(株)/日本赤十字社松江赤十字病院/ビッグホリデー(株)/株ビラッドサイクルニバコレクション/富士通(株)/香川県教育委員会/精華町/玉野市/高松市上下水道局/福井県教育委員会(高校)/龍谷大学付属平安中学校・平安高等学校(高校)/石川県教育委員会(中学校)
	人間科学科	京都三菱自動車販売(株)/株南都銀行/日本生命保険相互会社/株はま寿司/三井情報(株)/近鉄ホテルシステムズ/宝山寺福祉事業団/社会福祉法人青葉仁会/日本コンピューター・システム(株)/日本システムマネージメント(株)/株百五銀行/株北陸銀行/株産業経済新聞社/株デサント/日本赤十字社/株ルネサンス/京都市/草津市/奈良県/愛知県教育委員会(小学校)/大阪府教育委員会(高校)/岐阜県教育委員会(小学校)/京都市教育委員会(小学校)/浜木市教育委員会(幼稚園)/大阪府教育委員会(小学校)
理学部	数学科	株エイチ・アイ・エス/株愛媛銀行/オムロンソフトウェア(株)/特許業務法人オナダ国際特許事務所/株JIEC/第一生命保険(株)/株デ・マッセ/デンソーテック(株)/株東芝/株トヨタコミュニケーションズ/株りそな銀行/刈粟市/プール学院中学校・高等学校(高校)
	物理科学科	静岡コンピューターサービス(株)/住友電気工業(株)/ダイキン工業(株)/TIS(株)/株テイジエール/西三河農業協同組合/日研製薬(株)/株日本総合研究所/パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
	化学科	アサヒビール(株)/伊藤ハム(株)/SCSK(株)/住商グローバル・ロジスティクス(株)/テルモ(株)/株日本食品分析センター/日本食研ホールディングス(株)/奈良県警察
	生物科学科	株カスミ/株コーユー・ビジネスインフォメーションテクノロジクス/医療法人賛幸会医療と福祉の郷はまゆう/田村薬品工業(株)/西日本電信電話(株)/日本イーライリリー(株)/マリンファーズ(株)/米久(株)/株ライトオン/愛知県警察
生活環境学部	情報科学科	イオンモール(株)/株伊予銀行/株内田洋行ITソリューションズ/NTTコムウェア(株)/キング醸造(株)/KCCSマネジメントコンサルティング(株)/株CDG/中部電力(株)/TIS(株)/株南都銀行/日産自動車(株)/ハートンホテルサービス(株)/株百五銀行/株フォージェット/静岡県/福井市
	食物栄養学科	株あわしま堂/石井食品(株)/社会福祉法人上賀茂保育園/京都桂病院/株クリニコ/株さくら野百貨店/三栄源エフ・エフ・アイ(株)/株ジャパンホームベーキングスクール/特定医療法人衆済会増子記念病院/株食品環境検査協会/ダイヤ製薬(株)/トヨハシ種苗(株)/ナフス(株)/株日本ハム(株)/株パンビヤス奈良/株フジッコ/近江八幡市立総合医療センター/長崎県/大阪府教育委員会(高校)
	生活健康・衣環境学科	株カスターマーリレーションテレマーケティング/株近畿健康管理センター/社会保険診療報酬支払基金/ダイキン工業(株)/奈良県農業協同組合/日進化学(株)/日本生命保険相互会社/養命酒製造(株)/株わかさ生活/株AOKI/株ノ一理製作所/小野(株)/株カケンテックセンター/菅公学生服(株)/株村織維(株)/java group/株ティ・エス・シー/株トシボ/(財)ニッセケン品質評価センター/株日本繊維製品品質技術センター/株ホケン品質評価機構/フリーインターナショナル(株)/丸久(株)/株ワコール/名古屋/磐田市/高知県/長野県/京都府教育委員会(中学校)
	住環境学科	愛知(株)/株一条工務店/ANA新千歳空港(株)/MID都市開発(株)/国立大学法人京都大学/株フレディゼン/山陽建設(株)/株上毛新聞社/大建工業(株)/東京海上日動火災保険(株)/トヨタホーム(株)/株トリドール/西日本電信電話(株)/株ノリツ/株八十二銀行/株阪急交通社 株三井ホームデザイン研究所/株類設計室/YKK AP(株)/(株)製品評価技術基盤機構/大阪府
大学院博士前期課程	生活文化学科	社会福祉法人青葉仁会/株アビバ/株一条工務店/国立大学法人岡山大学/(株)高齢・障害・求職者雇用支援機構/独立行政法人住宅金融支援機構/セキスイファームエス中部(株)/全国健康保険協会/西尾信用金庫/西日本旅客鉄道(株)/株みずほフィナンシャルグループ/ヤマト運輸(株)/株ゆうちょ銀行/宝塚市/名古屋/福生市/横浜市教育委員会(中学校)/開智学園(小学校)
	国際社会文化学専攻 言語文化学専攻 人間行動科学専攻	株ISソフトウェア/株青山ケアサポート/第二岡本総合病院/株不登校支援センター/森村労務行政事務所/ヤマト運輸(株)/学校法人高羽幼稚園/智辯学園奈良カレッジ(中・高)/岐阜県/厚生労働省東海北陸厚生局/中津市/野洲市
	数学専攻 物理科学専攻 化学専攻 生物科学専攻 情報科学専攻	アイテック阪急阪神(株)/アクセンチュア(株)/インテグラル・テクノロジー(株)/ACメディカル(株)/株NECソフト/株NTTデータ/小野薬品工業(株)/花王(株)/株セアドキュメントソリューションズ(株)/株クロス・マーケティング/株ジーシー/新日鉄住金ソリューションズ(株)/住化エンビロサイエンス(株)/住友電工情報システム(株)/SOLIZE Engineering(株)/株ガスキン/田村薬品工業(株)/中央自動車工業(株)/株テバ製薬(株)/株東芝/東洋ビューティー(株)/株トラストテック/株ニコン/西日本電信電話(株)/日産自動車(株)/日本システム技術(株)/株バックプラス/パナソニックロジスティクス(株)/東日本旅客鉄道(株)/株日立製作所/Hit日立造船(株)/株富士通(株)/株富士通関西ネットテック(株)/株プライムアースEVエナジー(株)/ミズ/株/三井住友トラスト・システム&サービス(株)/三菱スペース・ソフトウェア(株)/三菱電機(株)/明星電気(株)/八州薬品(株)/ロート製薬(株)/青山学院高等部(高校)/関西大倉中学校・高等学校(高校)/智辯学園奈良カレッジ小学校/愛媛県警察
	食物栄養学専攻 生活健康・衣環境学専攻 住環境学専攻 生活文化学専攻	アイテック阪急阪神(株)/株味の兵四郎/株省午建築研究所/伊佐建築設計(株)/株オアシス/株オーイーシー/大原薬品工業(株)/株関電エネルギーソリューション/ケンミン食品(株)/学校法人 光華女子学園(大学)/シャープ(株)/社会福祉法人秀生会ザイオン/株水ハウス(フォーム)株/ダイヤ製薬(株)/WDBエウレカ(株)/TIS(株)/東邦化成(株)/西日本電信電話(株)/日新薬品工業(株)/一般財団法人日本食品分析センター/株日本設計/日本バイリン(株)/日本郵政(株)/フジモトHD(株)/株樹谷設計/名阪食品(株)/メロディアン(株)/ライオン(株)/長野県教育委員会(中学校)/福山大学/奈良県

*上記は主な就職先企業です。

奈良女子大学卒業生の稲葉カヨ氏が2014年「ロレアル-ユネスコ女性科学賞」を受賞されました

科学分野で世界的な成果を挙げた女性研究者をたたえる「2014年ロレアル-ユネスコ女性科学賞」の授賞式が3月19日にパリで行われ、著名な免疫生物学者で本学卒業生の稲葉カヨ氏（理学部生物学科1973年卒業・京都大学副学長）が日本人5人目の受賞者として表彰されました。同氏は賞金の一部を本学に寄附。これを受け本学は教育研究奨励賞を創設し、人間文化研究科博士前期課程から博士後期課程に進学する学業成績・人物的に優れた理系学生を表彰することを決定しました。6月11日には寄附金贈呈式と受賞記念講演会が本学で行われ、講演会には大勢の現役学生が来場し、熱心に耳を傾けていました。



受賞記念講演会の様子

「学術情報センター」が発足しました

奈良女子大学では平成26年4月1日より附属図書館と総合情報処理センターを統合・発展させ、新たに「学術情報センター」を発足させました。この統合については、平成23年度より検討を重ね準備を行ってきました。大学における学習・研究活動の変化や情報環境の多様化・高度化を受け、これらに対応した新たな教育・研究支援活動の拠点となることを目指し、設立したものです。今夏には新たに自動書庫の本格稼働が開始し、サービスの更なる向上が期待されます。



学術情報センター開所記念式典

平成26年度奈良女子大学国際交流基金外国人留学生奨学金決定通知書授与式が開催されました

平成26年6月10日、平成26年度奈良女子大学国際交流基金外国人留学生奨学金決定通知書授与式が開催されました。同基金は本学の同窓会である一般社団法人佐保会が中心となり設立されたもので、学業成績・人物ともに優秀な外国人留学生に対し学資を援助するとともに、海外の協定校へ派遣留学する学業成績・人物ともに優秀な本学の学生に対しての留学援助を行っています。授与式当日は今岡学長から留学生に奨学金決定通知書が授与されたのち、角田副学長、小山国際交流センター長らと交えた懇談会も行われました。



懇談会の様子

「team奈良女」が震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI 2014」に参加しました

3月9日に大阪市北区の梅田スカイビルで開催された東日本大震災の被災地復興応援イベント「3.11 from KANSAI 2014」に、本学の学生グループ「team奈良女」が参加しました。これまで「team奈良女」は甲南女子大学・同志社女子大学・京都女子大学と連携し、岩手県釜石市内の仮設商店街で模擬店開催等の復興支援活動を行ってきました。今回の企画では、釜石市の「アンジェリック洋菓子店」と共同開発した「苺スノーボールクッキー」等を販売しました。収益は、女性目線から釜石の各地を紹介する観光案内図の作成などに活用する予定です。



「team奈良女」メンバー

今回の表紙写真の撮影にも協力していただいた合気道部のみなさん。クラブ活動中に練習場に行くときと部員の方がこつちに駆け寄ってきて挨拶！さすがが体育会です。合気道の練習に一生懸命に取り組んでいる部員さんたちが日々学んでいるもの。それは、「身を守る力」だそう。その奥深い意味について「クラブ紹介」（16頁）をぜひご覧ください。④

今回の表紙写真の撮影にも協力していただいた合気道部のみなさん。クラブ活動中に練習場に行くときと部員の方がこつちに駆け寄ってきて挨拶！さすがが体育会です。合気道の練習に一生懸命に取り組んでいる部員さんたちが日々学んでいるもの。それは、「身を守る力」だそう。その奥深い意味について「クラブ紹介」（16頁）をぜひご覧ください。④

今号の特集は東洋紡で活躍されている卒業生の石丸さんをお招きしました。今岡学長と同じ研究分野ということで、終始和やかな対談でした。男女雇用均等法施行後ほどなく社会に出られた石丸さん。社会全体が女性の受け入れについて手探り状態だった中で、女性の企業人としての道を切り開いてこられました。ロレアル-ユネスコ賞を受賞された稲葉さんの活躍も、卒業された大学の関係者としても嬉しい限りです。100年を超える歴史ある奈良女子大学には、このほかにも様々な分野や地域社会で頑張っておられる卒業生がたくさんおられます。今後社会情勢が変わりゆく中においても、こうした卒業生、いずれは卒業生となる現役学生にも誇りと矜持を持ってもらえる奈良女子大学でなければならぬと改めて思いました。⑤

